

点描ぐんま経済

日銀支店長
見聞録

■87■

お酒はビール党だが、ワインも好きだ。

かつて仕事でパリに住んだ際、フランス各地を旅しワインを楽しんだのがきっかけだ。各地のワインの味は、土地の風景やワイナリーの様子、主人どのやりとり、合わせた地方料理と一体となって記憶に残る。時折そんな思い出にふけるのは楽しい。

群馬にもワイナリーがあると知り、昨秋、ブドウの収穫が終わる前に向かった。赤城山麓の昭和村を車で走ると、ワインが頭にあるせいか、何だかブルゴーニュの丘陵にいるよ

昭和村の野菜畑

日本で最も美しい村

うな気が。もちろんワインを造る土地だから似ていてもおかしくないが、何しろ辺り一面ブドウ畑ではなく野

菜畑なので、やはり不思議だ。

ワイナリーを訪れた後、道の駅で昭和村の冊子を手にとると、「よろこそ日本で最も美しい村へ」とあり驚いた。フランスにも「フランスの最も美しい村」協会に認定された村があり、訪れたことがある。調べるとやはり、フランスを範とし、日本の

村の景観・文化を守るべく2005年に発足したのが「日本で最も美しい村」連合だ。昭和村の農村風景は河岸段丘などとともに、フランス発祥のこの連合

により未来に残すべき地域資源に登録されている。ブルゴーニュに通ずる美しさを感じて

見るべきものはない」とされている。それから四半世紀を経て全く異なる評価がなされたことに、文化の成熟を見るような気がする。

に、中ノ条町の六合と伊参も連合に加盟している。国内の加盟は60を超え、

群馬では、中之条町垂らしたギンヒカリの薫製にピタリ。ワイナリーのアドバイス通り、数カ月我慢して栓

を抜いたピノ・ノワールは、群馬の牛肉の赤ワイン煮と楽し

もおかしくはなかったというところか。

ガイドもある。私が昭和村をきつかけに六合と伊参も訪れたよう

だ。群馬のワインと群馬の食材のマリアージュ、野菜畑を抜けて

ワイナリーを訪れた後、道の駅で昭和村の冊子を手にとると、「よろこそ日本で最も美しい村へ」とあり驚いた。フランスにも「フランスの最も美しい村」協会に認定された村があり、訪れたことがある。調べるとやはり、フランスを範とし、日本の

興味深いことに、支店長室にあった1979年の群馬のガイドを見ると、昭和村は「観光的にこれといって

い村」の活動がフランス同様広く認知されることはない。



渡辺真吾(わたなべ・しんご) 1972年生

まれ。岡山県出身。東京大経済学部卒、米ミシガン大で経済学博士号取得。95年に日本銀行入行後、大阪支店営業課長や金融研究所経済ファイナンス研究課長などを経て、2020年9月から現職。